

小・中学校、保育園のこれまでの経過等について

1 「魚津市小中学校の規模適正化基本計画」について

(1) 経過概要

○平成 17 年 6 月

魚津市教育委員会において、魚津市学校教育審議会を設置し、小中学校の規模適正化と通学区域の合理化について諮問

○平成 18 年 12 月

答申＝13 校→9 校（地区説明会、市 P T A 連合会・各单位 P T A との意見交換会の実施）

○平成 20 年 3 月

「魚津市立小中学校の学校の規模の適正化に関する素案」策定＝13 校→7 校（地区説明会、各地区の検討委員会、庁内検討委員会の設置）

○平成 21 年

「魚津市小中学校の規模適正化基本計画」

○平成 24 年 4 月

松倉小と坪野小の統合

(2) 平成 24 年 12 月市議会定例会

Q：少子化が急速に進展している状況から、規模適正化基本計画を見直し、早期に学校統廃合を進める取組みが求められているが。

A：計画については 5 年ごとに見直すこととしているが、早急に計画の見直しを進めていきたい。

Q：平成 30 年には私の試算では 60 人以下の学校が 5 校位、内 40 人以下の学校が 3 校となる。予想以上に少子化が進行しており、地域での議論もつくされておりそろそろ政治的判断が必要なのでは、統合を早く進めないと複式学級が多くなり問題である。

A：平成 27 年度までの有利な国の財源制度を使用し耐震化を進めると同時に統合も進めていく。

2 「保育園の規模適正化計画」について（保育行政研究会、庁内検討会）

(1) 経過概要

○平成 15 年 7 月 14 日

魚津市保育行政庁内会議（適正規模・適正配置・多様化する保育ニーズへの対応）

○平成 16 年 3 月

「保育行政のあり方に関する報告書」を市長に提出（魚津市保育行政調査検討会）：公立保育園の統合、幼稚園の統合

○平成 17 年 2 月

「保育所民営化第 1 次実施計画」を策定し、民営化する保育園を青島保育園とした。

公立幼稚園の統合、説明会の実施

○平成 18 年

青島保育園の民営化を延期（合意得られず）

○平成 21 年 11 月

少子化対策推進庁内会議において、民営化よりも公立園の廃止、魚津愛育園の閉園を優先

○平成 22 年 11 月

こども園について考えられる複数案：「幼保一体化WG」

○平成 23 年 1 月

幼保一体化（案）：「幼保一体化WG」

●平成 25 年 1 月（予定）

保育園等規模適正化基本計画について検討

●平成 26 年 3 月（予定）

魚津愛育園閉園、大町・経田幼稚園の統合

(2) 平成 24 年 9 月市議会定例会

Q：少子化に対する保育園等の今後のあり方について意見

A：委員会において将来のあり方について検討していただいたものを市民に公表していくとともに、理解をいただきながら、今後の施設の統廃合や維持の仕方について意見を求めていく。